

不老集

沈むもの映りたるもの春の水

藺草 慶子

朝夕に雨戸を繰りて雛の間

岩田 由美

涅槃図にまた人影の入れ替はる

金谷 洋次

黒々と長茄子の絵や種を売る

岸本 尚毅

寄り掛かるものあれば即日向ぼこ

小坪 健水

嘴に挟まれ見ゆる臘梅黄

坂本 靖夫

滝しぶく容のままに凍りけり

鈴木 豊子

薄氷にかすかなる音ありにけり

田中三二良

水仙を切つて一束隣へも

野上けいじ

竹垣の潜り口ある冬木の芽

橋本 久美

介添の要る花見とはなりにけり

松村 幸一

にはとこの芽吹すなはち蕾にて

茂木 泉

すさまじきパンジーのこの濃むらさき

山口梅太郎

木道の影に日向に蘆の角

若松 明弘